

妙安寺だより



【夏の子供会の様子】

【永代経法要のお知らせ】

8月2日(日)

【法要日程】

- 13:00～ 受付開始
- 13:30～ 法話 大江覚成師(東京教務所次長)
- 14:30～ 総永代経法要 兼 初永代経法要
- 15:30頃 終了

浄土真宗の亡き方を「とぶらう」とは、鎮魂・慰霊・成仏を願うことを意味する「弔う」ではなく、その人の人生や共に過ごした時間を訪ね直すことを表す「訪う」という字を当てます。そこには、亡き方を訪ね直すことで、改めて自身が頂いた恩の数々を知る事に繋がります。そして、その恩に報いていくことにも繋がります。その恩を知る場、報いる場が仏事の場であり、その場を次世代に伝えていくことを願って勤める法要が永代経法要であります。

【おみがきのお手伝い】 7月26日(日) 13時より

担当地区の上出島の皆さま よろしくお願ひします。

参加自由です。有志の方もお待ちしております。

「お盆法要のご案内」

うらぼんえ
本堂で盂蘭盆会（お盆）の法要を勤めます。

各法要後に永代供養墓（妙安寺廟）の前でもお勤めいたします。

どなたでも参拝できます。お参りください。

8月13日（木） ① 14:00～

14日（金） ① 11:00～ ② 14:00～

15日（土） ① 11:00～ **午後の方が空いています**



お盆法要の様子



永代供養墓でのお勤め

夏の子供会開催

別紙のとおり

7月12日（日）開催します

今年も流しそうめん・かき氷をします！

参加してね♪



連載「仏教のおしえ = 十二光（じゅうにこう） =」

今回は『正信偈』にある12の光の第8番「智慧光（暗闇を破る光）」を紹介します。

しょうじょうかんぎ ち え ころ
「清 浄 歡喜 智慧光（正信偈本文）」

長野県にある善光寺は、「牛に引かれて善光寺参り」や「遠くとも一度は詣れ善光寺」とことわざにもなるくらい有名な寺院であり、宗祖親鸞聖人も立寄られている浄土真宗にも縁の深い場所です。その本堂の床下にある真っ暗な回廊を進む「お戒壇巡り」も、これまた有名です。45mの真っ暗な道のりを壁伝えに進んでいくんですが、本当に真っ暗闇で先が見えず、本当に道が合っているかと心配になったり、だんだん前後左右の間隔がおかしくなり強い不安に駆られたりします。出口の光が見えた時の安心感は、本当に救いです！真っ暗闇の中にいる経験をする、光に照らされて周りが見える状態が如何に有り難いか痛感しますね。



親鸞聖人が詠まれた和讃（和歌）に

無明の闇を破するゆえ 智慧光仏となづけたり 『浄土和讃』

とあります。「無明の闇」とは、真っ暗で光がないという事です。それは、先の話で言えば、回廊は迷路の如く闇によって周りが見えず、自身が置かれている状況を把握できないということです。智慧の光が示唆するのは、光が差し込むことでその闇が破られ、自身の状況・状態が照らし出されるように、自分が「今何を大切にしているのか」を仏教によって照らし出されるということです。そして、「何を大切にしているのか」という問いが明らかになっていく歩みが始まるということでもあります。

※「無明」とは、自分自身を観ようとしめない、「何を大切にしているのか」を問わない歩み

【永代供養墓 二人用骨箱値上げ】



永代供養墓への納骨時に二人用の骨箱の希望が大変多くあり、大量に有った在庫が無くなりました！中国からの仕

入れや石材店さんの諸経費も高騰しており、申し訳ありませんが、値上げをさせていただきます。**3万円→4万円**にさせていただきます。改めてチラシを同封しております。

ご確認ください。また、ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。

